

日本鐵鋼協會記事

◎ 講演會

大正八年九月三日（水曜日）午後四時より本會事務所に於て工學博士横堀治三郎君の支那鑛業視察講演會ありたり。講演筆記は次號に掲載すへし。

◎編輯會

今泉嘉一郎君	香村 小錄君	大河内正敏君
白石元治郎君	大倉喜七郎君	栗原 忠三君
川野久太郎君	阿部又三郎君	池永雅之助君
外數名		
◎編輯會		
大正八年九月四日(木曜日)午後五時より編輯會を開き會 誌第五年第九號の原稿を選定せり、當日出席者は左の諸氏		

井上 克巳君 室井嘉治馬君 尾藤加勢士君
堀 尚靖君 淺尾芳之助君

前號報告後入退會を承諾せられたる會員は左の如し。

◎入退會者

東京府下大島町東京鋼材株式會社

日本鐵鋼協會記事

准員秋野釜吉

東京市外西巢鴨町宮仲二三二一

北海道室蘭區御前水一二一號役宅
八番市大倉亭留湯前北村方

八幡市製鐵所銑鐵部
貳零零零年正月一
二三

東京市下谷區上根岸町一六六

轉居（新住所の如し）

大阪市大阪砲兵工廠砲兵大尉

福臨縣八幡市製鐵所鋼材部技手

吳海軍工廠製鋼部海軍技手

福島縣安積郡郡山町字古館二五日
鳥取縣西伯郡糸子町糸子製糼所技師

東京市小石川區指ヶ谷町八六 海海道製鐵會社

大阪市北區天滿橋筋西一丁目大阪鑄鋼所員
東京府下糺鷄町二ノ五一 日本電氣製鐵會

北海道室蘭區茶津社宅六號海軍技師

福岡縣戸畠町戸畠鑄物株式會社技術員

北海道室蘭區日本製鋼所

神戸市脇ノ濱町一丁目神戸製鋼所員

卷之三

大阪市北區白屋町大阪砲兵工廠勤務

比每道凡隸州郡鑿河寸鑿河製耗所常務又審支

入會者
(住所及職業)

大阪市西區櫻島町大阪鐵工所	福岡縣戶畠町戸畠鑄物會社	三ノ二號
大阪市東區釣鐘町二ノ四二	吳市西二河通五丁目八ノ一 真柴方	廣恭二郎
神戶市京町十番館帝國汽船會社	東京市外南千住鐵道官舍	保敏男
朝鮮兼二浦三菱製鐵所	東京市外大崎町	藤松次郎
廣島市大手町九ノ一九五	東京市安來町安來製鋼所	增井敬次郎
八幡市大字前田字和井田九州銑鐵會社	長崎市三菱長崎造船所	齊井上郎
東京市外南千住鐵道官舍	長崎市芝區君塚町二	齊井上郎
東京市外大崎町 日本精工會社	東京市日本橋區濱町三ノ一 吾妻館方	新黒部義夫
鳥根縣安來町安來製鋼所	兵庫縣武庫郡課江字磯島八二八ノ二	藤木八郎
長崎市三菱長崎造船所	神戶市平野湊川町六三	松谷好
長崎市熊本遞信局海事部	東京市外天王寺村字阿信郡九九 鳥鶴方	伊藤宅治
東京市芝區君塚町二	大阪市東區寺山町四八五 井上方	高山正
東京市外池袋町九二五	東京市北區東野田町八丁目九三	狩谷正
吳市愛宕町四一次三	東京市本鄉區駒込千駄木町二四九 內山方	伊原太吉
大阪市北區東野田町八丁目九三	福岡縣八幡市製鐵所陸軍審查部	高下隆次
東京市在原郡蒲田村字女塚四一六	東京市外代々木二九四	伊原太吉
北海道室蘭日本製鐵所	東京市外代々木二ノ二	行健
福岡縣八幡市製鐵所陸軍審查部	東京市外代々木二九四	時雄
廣島市麿町區永樂町二ノ二	今田時太郎	輪時雄
東京市本鄉區駒込千駄木町二四九 內山方	平野春太郎	上村行孝
東京市外代々木二九四	廣瀬灌平	今田時太郎

准會員遠武鷹彦氏は大正八年八月死亡せられ
たり誠に哀悼の至りなり謹て弔す

東京市小石川區大塚坂下町八六	吉田順治
北海道室蘭日本製鋼所茶津社宅七五號	杉山清吉
東京市麻布區新堀町四	佐々木保三郎
東京市牛込區早稻田大學機械工學科	鈴木德藏
熊本縣飽託郡川尻町二一〇 上田方	田中政六
福岡縣小倉市古船場一五三	牧野立彰
八幡市製鐵所製鋼部	笹本菊太郎
八幡市製鐵所	小澤重明
名古屋市名古屋兵器製造所	山縣愷介
東京市本郷區森川町一 總辦館內	平川良彦
東京市赤坂區青山南町五ノ四五	渡邊綱雄
南滿洲鞍山站製鐵所	庄崎熊吉
北海道室蘭輪西北海道製鐵會社	
福岡縣戸畠町都島通高谷鐵工所	